

授業科目 ドイツ語 II

【担当教員名】		対象学年	2・3	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報	
山田 容子		開講時期	前期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲	態度	
○		○		◎	◎	
【概要】						
ドイツ語の構造を把握する ドイツの文化に親しむ						
【学習目標】						
1. 文法機能を理解し運用する 2. 辞書を用いて一般的なテキストを理解する・表現する 3. 日常的な場面における談話能力を身に着ける 4. 学習項目を総合的に確認し定着をはかる 5. 文化的な知識を増やす						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ドイツ語 I の復習				4	講義・グループタスク
2	7課 - 1 3格				1.3	講義・グループタスク
3	7課 - 2 3格を使う動詞とその運用				1.3	講義・グループタスク
4	7課 - 3 前置詞の運用 3格支配 / 4格支配				1.3	講義・グループタスク
5	7課 - 4 形容詞の比較級 最上級				1.3	講義・グループタスク
6	6課 - 1 変換前置詞の運用				1.3	講義・グループタスク
7	6課 - 2 過去形と現在完了形				1.3	講義・グループタスク
8	6課 - 3 過去や経験を談話する				1.3	講義・グループタスク
9	6課・7課の整理とまとめ				1.3.4	講義・グループタスク
10	5課 - 1 ホテルや飲食店での談話練習				3.4	講義・グループタスク
11	5課 - 2 8課 - 1 WEBでドイツ情報を自ら探す、入手する				2.5	講義・グループタスク
12	8課 - 2 読み作業とまとめ				1.2	講義・グループタスク
13	手紙の読み方・書き方				1.2	講義・グループタスク
14	DVD鑑賞				4.5	映像鑑賞
15	総まとめ 試験準備				1.2.4	講義・演習
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		「ドイツへ行こう! Auf nach Deutschland!」	Angela Braun, Uwe Preugschat, 平山令二	同学社	2005・2,500円+税・ドイツ語 I で使用したものと同一教材。後半部を使用します。	
参考書						
その他の資料		独和の辞書(好きなものでよい。中古でもよい。)				
【評価方法】			【履修上の留意点】			
出席や積極的な授業態度を重視し、頻回な小テスト・課題提出・期末テストで総合的に評価する。			ドイツ語 I レベルは習得済みであること。継続的な出席や予復習が強く望まれる。			